カタリナ
学報 第32号
St. Catherine University
聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部
2014. 6. 1

聖カタリナ大学第27回
聖カタリナ大学短期大学部第49回　入学式式辞

学長　ホビノ・サンミゲル

厳しい冬の寒さの後に、私たちは毎年春の喜びを迎えます。１年の中で春は最も美しい季節です。その温かさは大自然を変化させます。大地を花々で装い、山々に新しい息吹を与えます。それは新しい生命への賛歌なのです。日本では春の象徴は桜です。桜の花は私たちの人生に希望と勇気を与えてくれます。この、桜に彩られた美しい春の自然の中で、本日、優秀な若者たちが本学に入学することになりました。私たちの心は喜びで溢れています。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。遠くフランス、台湾、中国、韓国から来た留学生のみなさんとも、同じ喜びを分かち合いたいと思います。早く日本の生活に慣れて、皆さんの日本へやってきた目的が達せられるようお祈り致します。

保護者の皆様にも、心からお慶びを申し上げるとともに、感謝を申し上げます。新入生が、このよき日を迎えることができたのは、ひとえに皆様のお陰です。この若者たちを支え、励まし、力づけてくださったからこそ、今日の日があるのです。

また、ご来賓の皆様には、お忙しい中、ご列席下さり、ありがとうございます。心から御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは今日から本学の家族の一員となり、新しい人生をスタートさせることになりました。本学は家族的な雰囲気を持っています。スペイン語では家族のことをfamiliaと言いますが、familiaは本学の大きな特徴です。この家庭的な雰囲気の中で、皆さんには豊かに人格を形成していただきたいです。

本年度からは、学部を発展させ、新しい学科がスタートすることになりました。それは「健康スポーツ学科です」。この新しい学科は、他の学科と同じように、社会に貢献できる優秀な人材の養成を目指しています。今日入学した第１期生の皆さんは、しっかりとした土台を築いていただきたいと思っております。

皆さん、大学は、学問と文化だけではなく、精神的な人間の価値を伝達するための機関でもあります。心を開き、頭を柔軟にして、新しい知識や新しい価値観を受け取るのです。そうすることによって一人ひとりの人生の基礎が強くなります。人生は長いです。将来に何が起こるか分りませんが、すべての困難や問題に耐えることができるようになることが必要です。人生を建築物に例えるならば、大学生活は、その確固たる基盤を築くための場所なのです。

皆さんが、今から２年間、或いは４年間の大切な時期を有意義に過ごすために、一人ひとりがしっかりとした目標を立てる必要があります。現在、多くの若者が目的なしに人生をおくっています。しかし、それは基礎を作らずに高いビルを建てるようなものです。何のために勉強をするのか、そして、社会に出たら、その中でどういう役割を果たしたいかという、目標を建てなければなりません。勿論その目標は、達成することを目指す訳ですから、目標をたてるだけではなく、それと同時に、明確な信念を持ち、困難を乗り越えていく勇気が必要になります。そして、そのために、学問をするだけではなく、豊かな人格を形成しなければならないのです。

大学での学問は、暗記するだけでなく、学問を通じて、自分の目標に達するために、自ら発見をしていく貴重な経験をするのです。さらに、大学は知識を授けるだけはありません。大学はまた、創造、すな

わちCREATIVITY,する場所でもあるべきなのです。

皆さんは創造的である必要があります。創造性は人間の最も重要な特徴のひとつです。創造なき進歩はありません。創造性は知性の訓練から生まれます。皆さんは本学に在学する間に、自分の考えを持つ人間にならなければなりません。私は、皆さんが自分で考え、自分で判断し、自分で責任のある行動を取ることができる人間になることを期待しています。現代人の多くは、自発的に獲得した知識ではなく、他動的に与えられたものに振り回されています。インターネット上の不確かな根拠に基づく情報が、あたかも知識であるかのようにみんなが考えるようになっています。そういったものは単なる情報に過ぎません。もちろん、インターネット上にも価値のある情報はありますが、皆さんはそれを吟味し、そこから真の知識を見出せるような、知的創造ができる人間にならねばなりません。そうすることで、皆さんは目標を目指して歩む人生の局面で、自分で決断し、判断することができるようになるのです。

皆さんは、神様から驚くべき智恵と創造力をいただいています。その力は皆さん自身の幸せのために、また、社会の福祉を増進させるために、成長させる必要があります。先ほど在学生が朗読した聖書の箇所は旧約聖書の『知恵の書』から取っています。ソロモン王は神に自分の民に奉仕するための「知恵」を求めました。そして、神はソロモンが自分のためではなく、人びとの幸せのために願ったので、すばらしい知恵を与えられたのです。この知恵の書には、ソロモンがすべての存在しているものよりも知恵を選び、そうすることで、知恵と共にすべての善が彼を訪れたと述べています。

皆さん、どうか本学で本当の知恵を求め、探してください。本学の建学の精神は愛と真理です。この２つの価値はすべての知恵をまとめたものです。愛とはキリスト的な愛という意味で、人びとの幸せのために奉仕することです。キリスト教のヒューマニズムはこの精神から生まれます。お互いに大切にし会うことによって、私たちは平和と喜びを味わうことができます。それを実現するためには大きな心が必要です。すべての人びとを愛することができる心を培っていただきたいです。本学の家庭的な雰囲気の中で、愛と友情の精神に基づいて、優れた人格を形成してください。人々を大切にすることを学び、訓練し、その愛の光で社会を照らしてください。

愛と同時に、真理も、もう１つの普遍的な価値です。真理はあなたたちを自由にするとイエス・キリストは述べています。ここで言う真理とは、科学的な真理だけではなく、人びとに幸せと喜びを与えることができる倫理的、宗教的な真理をも含んでいます。真理とは人々を破壊し、不幸にさせるものではなく、人びとを救うためにあります。この真理の探究は、本学の母体である聖ドミニコ修道会を支えてきた精神です。

本学はドミニコ修道会の大学として設立されました。ドミニコ修道会は800年もの長い歴史を通じて、全世界に広がりました。本学を含む多くの大学、研究所、教育機関を通じて、あらゆる分野で偉大な人材を育成してきました。皆さんが世界史で習った、聖トマス・アクィナスはその一人です。また、本学の保護者であるシエナの聖女カタリナもそうです。聖女カタリナは愛と真理に基づいて生き、神と人々を愛し、最も貧しい人に奉仕しながら命を捧げました。学問的にも優れていた聖女カタリナは、女性として始めてカトリック教会博士の称号を受けた方です。

皆さん、この本学の保護者である聖女カタリナのように、神と人びとを愛する心を持ち、真理を追究しそれを実践する、優れた人格をもつ人間になってください。自分の人生の意味と目的を知るために、そして真の意味での喜びの生活を送るために、今日から努力することを私と約束して下さい。私たち教職員も、皆さんの未来のために努力することを約束します。大学生としての貴重な時間を無駄にせず、本学の恵まれた環境で楽しい学生生活を送って下さい。

最後に、これから始まる大学生活における、皆さんの健康と幸せをお祈りして、私の挨拶と致します。

◆◇ St. Catherine News ◇◆

●産業カウンセラー試験に合格！　人間社会学科第１期生

一般社団法人日本産業カウンセラー協会が主催する平成25年度産業カウンセラー試験が、平成26年１月19日（学科）、１月25、26日（実技）に実施され、人間社会学科の３年生、５名が見事合格しました。

●健康運動実践指導者認定試験

聖カタリナ大学合格率　100.0%
全国の合格率　65.9%

平成25年度健康運動実践指導者認定試験が、平成25年12月（実技）、平成26年１月（筆記）に実施され、健康スポーツマネジメント専攻の学生12名が受験し、12名全員が見事合格しました。

●学内合同企業説明会を開催

１月18日（土）大学３年生と短大１年生を対象とした学内合同企業説明会を本学で開催しました。説明会には、愛媛県内で製造、販売、サービスなど様々な事業を展開する企業28社が参加。採用担当者は、映像や自社商品などを使い、学生に企業の特色をわかりやすく紹介していました。

参加した学生も積極的にブースを訪問し、仕事のやりがいや社風などを熱心に質問する姿も見られました。

●2013年度 愛媛銀行寄附講座・聖カタリナ大学「風早の塾」後期修了式

１月24日（金）に愛媛銀行寄附講座「風早の塾」の最終講義(総括)と後期修了式が行われ、今年度の寄附講座は全日程終了いたしました。

総括では、学外から愛媛銀行頭取 本田元広氏、大阪大学名誉教授 塩原勉氏、東京大学名誉教授 似田貝香門氏をお招きし、学内からは学長ホビノ・サンミゲル、人間健康福祉学部長 坂原明が登壇しました。

●2014年度 愛媛銀行寄附講座・聖カタリナ大学「風早の塾」

昨年度は「健康」をキーワードに「現代社会を生ききる叡智～生老病死をこえて～」をテーマとし寄附講座を開講いたしましたが、本年度は「幸福の地域コミュニティ」をメインテーマに掲げ、第１部では人と地域や自然の“つながり”、第２部ではソーシャルワークによる“支えあい”に焦点を当て、まちづくりや地域づくり、地域福祉について考える寄附講座「風早の塾」を４月25日（金）より開講しました。

寄附講座は学生に加えて一般市民の皆様も聴講できますので、ご来場ください。事前申込み不要。

多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

●聖カタリナ大学 人間文化研究所 公開セミナーの開催

２月８日（土）13：30～15：30に聖カタリナ大学 人間文化研究所 公開セミナーを開催しました。

当日は、「風早のまちづくり～住みよいまちづくりを目指し～」をテーマにシンポジウムが行われ、学外有識者として北条地区まちづくり協議会事務局長 安藤光夫氏をお招きし、本学教員も登壇し、様々な意見交換がなされました。

会場には、本学学生に加えて、学外からも聖カタリナ女子高等学校の生徒を含む多数の方にご来場いただきました。また、質疑応答も交わされ一般参加者も含めた有意義な交流の場となり、盛況のうちに終了することができました。

●学長と学生との懇談会（第13回）を開催

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部では、２月10日（月）に平成25年度「学長と学生の懇談会（第13回）」を開催しました。

懇談会では、大学関係者として学長、副学長、人間健康福祉学部長、保育学科長、学生部長が出席し、学生と軽食をとりながら、リラックスした雰囲気の中で率直な意見交換を行いました。

この懇談会は、学生の声を直接聞くことによって、今後の教育改革や学生支援、さらには大学運営に役立てることを目的として毎年開催しているものです。

学生から学習環境や授業内容に関することなど、学生生活の中で、学生が感じていることや要望等を、大学に直接伝えることができる有意義な機会となりました。

なお、学生から寄せられた意見・要望等については、今後学内で検討し、授業や施設・設備の改善等に反映していくことにしています。

●第２回聖カタリナ大学第三者評価委員会を開催

聖カタリナ大学では、日々の活動に対して学外有識者（外部評価委員）に評価・提言をいただき、その意見を本学の大学運営・地域貢献等の質的向上や改善に繋げることを目的として、2013（平成25）年度より第三者評価委員会を開催することといたしました。

この度３月18日（火）に第２回聖カタリナ大学第三者評価委員会を開催し、外部評価委員の方から貴重なご意見・ご提案をいただき、本学出席者と活発な意見交換が行われました。

なお、ご意見・ご提案を基に、本学における教育・研究・地域貢献活動の改善により一層努めてまいります。

●平成26年度後援会奨励表彰

５月14日（水）、母をたたえる日の行事に併せ、後援会長から後援会奨励金の授与が行われました。この奨励制度は、在学生の学業成績優秀者に後援会から奨励金を授与し、さらなる勉学への励みとしてもらうものです。

今年度の表彰者は以下の皆さんです。

伊藤　有美さん（大学２年）	菅原　弘治さん（大学２年）	永見　幹太さん（大学２年）
西岡　夢子さん（大学３年）	武智　咲紀さん（大学３年）	日野亜衣梨さん（大学３年）
西原悠梨子さん（短大２年）	山岡由香里さん（短大２年）	

◆◇ 平成 25 年度後期行事（H25.10.1 ～ H26.3.31）◇◆

月	日	曜	区	行　　事
10	2	水	大	人事委員会
	4	金	大	第三者評価委員会、寄附講座⑨「風早の塾」
	5	土	大	ＡＯ入試面接、外国人留学生入試(指定校)、入試・募集委員会
			大	編入学試験(一般Ⅰ・提携Ⅰ・指定校推薦)
			短	ＡＯ入試面接、外国人留学生入試(指定校)、入試・募集委員会
	7	月	大	教授会
			短	教授会
	8	火		ＳＤ委員会、課長会議
	9	水		図書館委員会
	11	金		前期末卒業証書授与式、パイプオルガン演奏会実行委員会
			大	大学評価委員会、人事委員会、まつやまシニアカレッジ
	14	月	大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
	15	火	大	大学評価委員会
	16	水		キリスト教研究所フォーラム、キリスト教研究所所員会
	17	木		理事長講話
	18	金		人間文化研究所フォーラム、国際交流委員会、パイプオルガン演奏会実行委員会
			大	寄附講座⑩「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
			短	保育学科会議
	19	土		理事会
	22	火		大学訪問(聖カタリナ女子高校)、合同ＦＤ委員会
	23	水		危機対策本部会議、パイプオルガン演奏会実行委員会
			大	人事委員会、社会福祉士国試対策講座［４回生］
	24	木		大学訪問(北条南中学校)、パイプオルガン演奏会実行委員会
	25	金		大学祭(～10/27)
			大	人事委員会、大学評価委員会
	26	土		キャンパス見学会
	28	月	大	大学評価委員会、経済支援学生選考委員会
	30	水		大学訪問(北条高等学校)
			大	社会福祉実習委員会、社会福祉学科会議、健康福祉マネジメント学科会議
	31	木		ＳＤ委員会
			大	大学評価委員会
11	1	金	大	寄附講座⑪「風早の塾」、大学評価委員会
	2	土	大	推薦入試
			短	推薦入試
	5	火	短	保育実習［保１］(～11/16)
			大	入試・募集委員会、教授会
	6	水	大	大学評価委員会、人事委員会、就職委員会大学部会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
			短	入試・募集委員会、教授会
	7	木		会計監査(～11/8)
			大	大学評価委員会
	8	金	大	まつやまシニアカレッジ
			大	人間社会学科会議、学部年間計画協議会
	11	月	大	大学評価委員会
	13	水		キリスト教研究所フォーラム
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
	15	金	大	寄附講座⑫「風早の塾」、まつやまシニアカレッジ
			大	教授会、選考教授会、社会福祉士国試対策講座［４回生］
			短	保育学科会議、教授会
	20	水		入試・募集委員会
	22	金		中長期経営委員会
			大	人間社会学科会議、インターンシップ報告会、社会福祉士国試対策講座［４回生］
	23	土		評議員会・理事会
	26	火		合同ＦＤ委員会
			大	経済支援学生選考委員会
	27	水		ＳＤ委員会、奨学制度運営委員会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
	28	木		保健講話
	29	金		人間文化研究所フォーラム

月	日	曜	区	行　　事
11	29	金	大	寄附講座⑬「風早の塾」、社会福祉学科会議、社会福祉士国試対策講座［４回生］
12	2	月	大	大学評価委員会
	4	水		ＳＤ委員会、学生生活委員会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
	6	金	大	入試・募集委員会
			短	教授会
	7	土	大	推薦入試(一般)、社会人入試、入試・募集委員会
			短	推薦入試(一般)、社会人入試、入試・募集委員会
	9	月	大	教授会、大学評価委員会
			短	教授会
	11	水		キリスト教研究所フォーラム、キリスト教研究所所員会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］、教務委員会大学部会
	13	金	大	寄附講座⑭「風早の塾」、人間社会学科会議、教授会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］、教職課程委員会
			短	保育学科会議
	16	月	大	大学評価委員会
	18	水		図書館委員会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］、人事委員会
	20	金		学内クリスマス、パイプオルガン演奏会実行委員会
			大	精神保健福祉援助実習報告会・連絡会、大学評価委員会
			大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
			短	大学評価委員会
	21	土		理事会
	26	木		事務職員研修
1	8	水	大	社会福祉士国試対策講座［４回生］
	10	金	大	教授会、入試・募集委員会
			短	教授会、保育学科会議
	11	土	大	介護福祉士実習指導者養成講習会(～1/12)
	14	火	短	保育学科会議、幼稚園教育実習［保１］(～1/27)
	15	水	大	社会福祉士国試対策講座［４回生］、人事委員会
	16	木		ギャラリー見学(聖カタリナ大学短期大学部附属幼稚園)
			短	大学評価委員会
	17	金		将来計画委員会、奨学制度運営委員会
	18	土		学内合同企業説明会
			大	人事委員会
	21	火		大学訪問(韓国・釜山カトリック大学校～1/22)
	22	水		キリスト教研究所フォーラム
	23	木		ＳＤ委員会
			短	大学評価委員会
	24	金		人間文化研究所フォーラム
			大	寄附講座⑮「風早の塾」
	25	土		評議員会・理事会
			大	介護福祉士実習指導者養成講習会(～1/26)
	30	木		パイプオルガン演奏会実行委員会
	31	金	大	後学期授業終了、選考教授会
2	1	土	大	一般入試
			短	一般入試、外国人留学生入試、社会人入試、入試・募集委員会
	3	月	大	後学期試験(～2/7)、入試・募集委員会、教授会
			短	教授会
	5	水		合同ＦＤ委員会
	7	金		予算委員会
			短	後学期授業終了
	8	土		人間文化研究所公開セミナー
	10	月		第13回「学長と学生との懇談会」
			大	外国人留学生入試、編入学試験Ⅱ期
			大	入試・募集委員会、教授会
	12	水		教育充実ワーキングチーム会議
			大	人事委員会
			短	入試・募集委員会、教授会、学科会議、人事教授会
	13	木	大	介護福祉実習［介２］(～3/12)

月	日	曜	区	行　　事
2	13	木	短	実習懇談会(西条)
	14	金		学内ＦＤ研修会
	17	月	大	精神保健福祉援助実習[社３](～3/25)、介護福祉実習[介３](～3/14)
	18	火		学生生活委員会
			大	教務委員会大学部会
	19	水		予算委員会、キリスト教研究所フォーラム、キリスト教研究所所員会
	20	木	大	教授会、選考教授会
			短	実習懇談会(大洲)
	21	金		人間文化研究所フォーラム
			大	大学評価委員会、教職課程委員会
			短	保育実習[保１](～3/3)
	22	土	大	人事委員会
	24	月	大	社会福祉学科会議、社会福祉実習委員会
			短	教務委員会短期大学部会、保育学科会議
	25	火		理事会
	26	水		課長会議
			短	教授会
	27	木	大	一般入試
			短	一般入試、社会人入試、大学評価委員会
	28	金	大	入試・募集委員会、教授会、選考教授会
			大	大学評価委員会、人事委員会
			短	入試・募集委員会、教授会

月	日	曜	区	行　　事
3	1	土		後援会役員会
	4	火		ＳＤ委員会
			短	保育実習[保１](～3/14)
	5	水		予算委員会
	7	金	大	教授会
			短	保育学科会議、教授会
	11	火	大	ボランティアセンター運営委員会
	13	木	大	一般入試、入試・募集委員会、教授会、選考教授会
			短	入試・募集委員会、教授会
	14	金		奨学制度運営委員会、将来計画委員会
			大	就職委員会大学部会
	15	土		卒業式、理事会
			大	人事委員会、選考教授会
	16	日		医療的ケア教員講習会
	18	火		ＳＤ委員会
			大	第三者評価委員会
	19	水		広報委員会
	21	金		春のオープンキャンパス、春季休業(～3/31)
	25	火	大	大学ＦＤ委員会、学生生活委員会
	26	水		入試・募集委員会、新採用職員研修
	27	木		新採用職員研修
	29	土		評議員会・理事会

◆◇ 平成 25 年度卒業生就職等進路状況 ◇◆

平成26年５月１日現在

１. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業種／学科		就職者数 社会福祉	健康福祉	合計
企業	建設／製造	3	2	5
	情報通信／運輸，郵便	0	4	4
	卸売，小売	7	15	22
	金融，保険	0	1	1
	サービス(宿泊，複合他)	1	8	9
	その他(電気，不動産他)	1	1	2
	教育，学習支援	1	2	3
医療，福祉	医療，保健衛生（病院他）	7	4	11
	児童養護施設	1	0	1
	老人福祉施設	22	10	32
	身体障害者福祉施設	2	1	3
	知的障害者福祉施設	4	2	6
	精神障害者福祉施設	1	0	1
	その他（社会福祉協議会他）	2	0	2
公務	国家公務員	0	2	2
	地方公務員	1	2	3
就職者数		53	54	107
	（県内）	(46)	(42)	(88)
	（県外）	(7)	(12)	(19)
卒業者内訳	就職未定者数	2	2	4
	就職希望者数	55	56	111
	就職率	96.4%	96.4%	96.4%
	進学決定者	1	6	7
	家事・その他	6	7	13
	卒業者数	62	69	131

【聖カタリナ大学短期大学部】

業種／学科		就職者数 保育
教育，学習支援	公立幼稚園	1
	私立幼稚園	32
	その他の教育，学習支援業	0
児童福祉	公立保育所	4
	私立保育所・託児所	33
	児童福祉施設	2
	その他の児童福祉事業	0
医療，福祉	医療，保健衛生（病院他）	1
	その他の福祉，介護事業	0
企業	卸売，小売	4
	宿泊，飲食サービス	1
	金融，保険	0
	その他（製造，サービス他）	1
公務	国家公務員	0
	地方公務員	0
就職者数		79
	（県内）	(77)
	（県外）	(2)
卒業者内訳	就職未定者数	0
	就職希望者数	79
	就職率	100.0%
	進学決定者	1
	家事・その他	5
	卒業者数	85

（6Pへ続く）

２．職種別状況

【聖カタリナ大学】

職　種　／　学　科	就　職　者　数		
	社会福祉	健康福祉	合　計
医療ソーシャルワーカー（ＭＳＷ）	1	0	1
精神科ソーシャルワーカー（ＰＳＷ）	2	0	2
相談員（社会福祉主事他）	2	0	2
支援，相談（知的・身障・児童他）	6	3	9
介護福祉士・介護・支援，相談（老人）他	23	9	32
その他の福祉専門職（保育士含）	0	0	0
教員（高等学校のみ）	0	0	0
事務	8	9	17
販売，営業	10	20	30
その他（サービス，保安，生産他）	1	13	14
合　　計	53	54	107

【聖カタリナ大学短期大学部】

職　種　／　学　科	就職者数
	保　育
幼稚園教諭	33
保育士	39
その他の教員	0
社会福祉専門職業／介護サービス職業	0
事務	2
販売	3
その他（サービス職業／生産工程他）	2
合　　計	79

◆◇ 平成 25 年度教授会議題（後期）◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H25. 10. 7　第８回
1．平成26年度ＡＯ入試合格者選考について
2．平成26年度外国人留学生特別入試指定校推薦合格者選考について
3．平成26年度第３年次編入学国際提携校推薦入試合格者選考について
4．前期未卒業予定者について
5．退学について

H25. 11. 5　第９回
1．平成26年度指定校推薦入試合格者選考について
2．平成26年度専願推薦入試合格者選考について
3．平成26年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について

H25. 11. 15　第10回
1．聖カタリナ大学人間健康福祉学部にかかる学位授与方針（ディプロマポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）について
2．平成26年度学年暦について
3．退学について
4．休学について
5．復学について
6．特別聴講学生（外国人留学生）の受入について
7．履修科目の登録の特別許可について

H25. 12. 9　第11回
1．平成26年度一般推薦入試合格者選考について

H25. 12. 13　第12回
1．学長賞の選考について
2．卒業研究論文に関する規程の一部改正について

H26. 1．10　第13回
1．平成26年度事業計画（案）について

H26. 2．3　第14回
1．平成26年度一般入試Ａ日程合格者選考について

H26. 2．10　第15回
1．平成26年度大学入試センター試験利用入試前期合格者選考について
2．平成26年度外国人留学生特別入試合格者選考について
3．人間健康福祉学部健康スポーツ学科にかかる学位授与方針（ディプロマポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）について

H26. 2．20　第16回
1．卒業判定について

H26. 2．28　第17回
1．平成26年度一般入試Ｂ日程合格者選考について

H26. 3．7　第18回
1．卒業の認定について
2．進級判定について
3．転専攻について
4．除籍について
5．復籍について
6．退学について
7．休学について
8．復学について
9．授業科目の開設について
10．平成26年度寄附講座について

H26. 3．13　第19回
1．平成26年度一般入試Ｃ日程合格者選考について
2．平成26年度大学入試センター試験利用入試（後期）合格者選考について
3．聖カタリナ大学教授会規程の一部改正について
4．聖カタリナ大学教員の採用、昇任及び配置換に関する選考細則の一部改正について
5．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部入試・募集委員会規程の一部改正について
6．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部教務委員会規程の一部改正について
7．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部学生生活委員会規程の一部改正について
8．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部就職委員会規程の一部改正について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H25. 10. 7　第７回
1．平成26年度ＡＯ入試合格者選考について

H25. 11. 6　第８回
1．平成26年度指定校推薦入試合格者選考について
2．平成26年度専願推薦入試合格者選考について
3．平成26年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について

H25. 11. 15　第９回
1．学年暦について
2．退学について
3．復籍について

H25. 12. 6　第10回
1．学長賞の選考について

H25. 12. 9　第11回
1．平成26年度一般推薦入試合格者選考について
2．平成26年度社会人特別入試（Ｉ期）合格者選考について

H26. 1．10　第12回
1．平成26年度事業計画の取扱について

H26. 2．3　第13回
1．平成26年度一般入試Ａ日程合格者選考について

H26. 2．12　第14回
1．平成26年度大学入試センター利用入試前期合格者選考について

H26. 2．26　第15回
1．卒業判定について

H26. 2．28　第16回
1．平成26年度一般入試Ｂ日程合格者選考について

H26. 3．7　第17回
1．保育学科にかかる「ディプロマ・ポリシー」・「カリキュラム・ポリシー」・「アドミッション・ポリシー」について
2．卒業の認定について
3．退学について
4．除籍について

H26. 3．13　第18回
1．平成26年度大学入試センター試験利用入試（後期）合格者選考について
2．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部入試・募集委員会規程の一部改正について
3．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部教務委員会規程の一部改正について
4．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部学生生活委員会規程の一部改正について
5．聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部就職委員会規程の一部改正について

◆◇ 平成 25 年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◇◆

（注）　表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

■1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が40億9百万円（予算比＋8百万円）、資金支出が39億43百万円（予算比＋5百万円）となりました。結果、差額66百万円を前年度繰越支払資金18億95百万円に加算し、次年度繰越支払資金は19億61百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金＆いつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出の顛末を表します。

科　目		予　算 (a)	決　算 (b)	増　減 (b)−(a)
前年度繰越支払資金		1,895	1,895	―
当年度	資金収入	4,001	4,009	8
	資金支出	3,938	3,943	5
	収支差額	64	66	3
次年度繰越支払資金		1,958	1,961	3

■2. 消費収支決算

消費収支決算は、帰属収入が35億94百万円（予算比±0百万円）、基本金組入額が1億13百万円（予算比△40百万円）となり、その結果、消費収入は34億81百万円（予算比＋40百万円）となりました。一方、消費支出は36億52百万円（予算比△39百万円）となり、当年度消費収支差額は△1億70百万円（予算比＋79百万円）となりました。この結果、翌年度繰越消費支出超過額は、34億21百万円の予算に対し、決算では33億42百万円となりました。

■消費収支計算書：当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を表します。一般企業会計の「損益計算書」に当たります。

科　目	予　算 (a)	決　算 (b)	増　減 (b)−(a)
①帰属収入	3,594	3,594	0
②基本金組入額(△)	153	113	△ 40
③消費収入 ①−②	3,442	3,481	40
④消費支出	3,691	3,652	△ 39
当年度消費収支差額 ③−④	△ 249	△ 170	79
前年度繰越消費収支差額	△ 3,198	△ 3,198	―
基本金取崩額	26	26	0
翌年度繰越消費収支差額	△ 3,421	△ 3,342	79

■3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末（平成26年3月31日）において、資産の部148億27百万円、負債の部13億40百万円、基本金の部168億30百万円、消費収支差額の部における翌年度繰越消費収支差額は△33億42百万円となりました。なお、資産総額から負債総額を減じた「正味財産額」は、134億88百万円です。

■貸借対照表：一定時点（本学は３月末現在）の資産及び負債、基本金、消費収支差額の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科　目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増　減 (a)−(b)
資産の部			
固定資産	12,537	12,567	△ 30
流動資産	2,290	2,310	△ 20
資産の部合計	14,827	14,877	△ 50
負債の部			
固定負債	687	694	△ 7
流動負債	653	639	14
負債の部合計	1,340	1,333	7
基本金の部			
基本金	16,830	16,742	87
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収支差額	△ 3,342	△ 3,198	△ 144
負債、基本金及び消費収支差額の部合計	14,827	14,877	△ 50

＊参　考＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通した人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、経営という視点を欠き、過分な設備投資や場当たり的な運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招いてしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。学校法人は、この「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成することが義務づけられています。　なお、現行の会計基準が一部改正され、平成27年度より新・学校法人会計基準が施行されます。＊＊＊＊＊＊

◆◇ 人　事 ◇◆

《平成26年３月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部
- 教授　久保　玄次
- 教授　伴野　昌弘
- 講師　張　珂
- 講師　中村　年男
- 助手　丸岡　豊

就職課
- 課長　廣嶋　守

総務課
- 課長補佐　一柳　千鶴子

教務課
- 事務職員（非）白石　彩佳

《平成26年５月31日付け》

【退職】

学生部
- 事務職員（非）相談役　豊田　達雄

《平成26年３月１日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部
- 教授　山本　万喜雄
- 教授　稲田　俊治

《平成26年４月１日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部
- 准教授　田中　忍
- 講師　田村　周一
- 講師　釜野　鉄平
- 助教　芳地　泰幸

会計課
- 事務職員　正木　祐輔
- 事務職員　吉廣　沙耶

学生支援課
- 事務職員　堀内　真菜

教務課
- 事務職員（非）大橋　美沙

【昇任】

人間健康福祉学部
- 教授　佐々木　裕子
- 教授　畔地　利枝
- 准教授　丹下　美輪
- 准教授　徳田　剛
- 准教授　曽我部　敦介
- 准教授　長尾　由希子
- 講師　武村　淳司
- 講師　高木　寛之
- 講師　大西　史晃

保育学科
- 講師　竹田　信恵

就職課
- 課長　井上　尚幸
- 主任　重松　映美

会計課
- 主任　山内　理恵子

学生支援課
- 主任　大西　章公

法人本部事務局

庶務課
- 課長補佐　髙橋　小巻

会計課
- 課長補佐　石井　亮

【配置換】

入試課（併任：就職課課長補佐）
- 課長補佐　新名　敏弘

教務課
- 主任　西岡　あずさ

総務課
- 事務職員　公原　裕美子

就職課
- 事務職員　蔵前　純二

◆◇ 新任教員紹介 ◇◆

①最終学歴　②現職　③主要担当科目　④就任年月日

山本　万喜雄（やまもと　まきお）

①東京教育大学大学院体育学研究科健康教育学専攻修士課程修了
②聖カタリナ大学人間健康福祉学部　教授
③学校保健、保健体育科教育法Ⅱ、衛生学・公衆衛生学、教職論、障害者の心理、発育・発達論、発達心理学Ⅰ・Ⅱ
④平成26年３月１日

稲田　俊治（いなだ　としはる）

①東京教育大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程修了
②聖カタリナ大学人間健康福祉学部　教授
③スポーツ社会学概論、社会学概論、体育実技、体育理論、生涯スポーツ論、コミュニティスポーツ論
④平成26年３月１日

田中　忍（たなか　しのぶ）

①筑波大学大学院博士課程体育科学研究科体育科学専攻単位取得退学
②聖カタリナ大学人間健康福祉学部　准教授
③スポーツ実技（バレーボール）、健康とスポーツ、体育実技、基礎演習Ⅰ、インターンシップ
④平成26年４月１日

田村　周一（たむら　しゅういち）

①神戸大学大学院文化学研究科社会文化専攻博士課程修了
②聖カタリナ大学人間健康福祉学部　講師
③社会学Ⅰ・Ⅱ、社会調査法、社会調査論、基礎演習Ⅰ、インターンシップ、データ分析の基礎、メディアの社会学、家族社会学、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、人間社会学概論、専門演習
④平成26年４月１日

釜野　鉄平（かまの　てっぺい）

①九州保健福祉大学大学院（通信制）社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学
②聖カタリナ大学人間健康福祉学部　講師
③医療ソーシャルワーク演習、医療福祉論、人間の尊厳と自立、社会福祉援助技術論Ⅱ－ａ、基礎演習Ⅰ、社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅲ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ－ａ・ｂ、社会福祉援助技術現場実習
④平成26年４月１日

芳地　泰幸（ほうち　やすゆき）

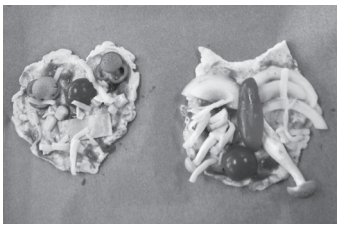
①順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程単位取得満期退学
②聖カタリナ大学人間健康福祉学部　助教
③スポーツ医学実習、臨床体力学、レクリエーション指導法Ｂ、健康スポーツ実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、健康福祉インターンシップ、障害者スポーツ、体育実技、体育Ⅱ（実技）
④平成26年４月１日

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学短期大学部
保育学科 助教　一色　玲子

昨年春に本学に着任し、12年ぶりに地元の愛媛に戻ってまいりました。大学院では家庭科教育学、家政学を専攻してきました。現在は、「子どもの食と栄養」や「保育実習指導」などの授業を担当しています。

昨年度は大学の授業と並行して、学内で子どもたちやその保護者の方々に向けた実践をいくつか担当させていただきました。その中の一つが、附属幼稚園の年長児クラスを対象とした親子クッキングです。親子クッキングでは、米粉ピザとミルク寒天を作りました。幼児期の栄養や調理技能の発達段階をふまえながら、食べ物を触って調理する楽しみ、友だちやお母さんたちと共有する楽しみを味わってほしいと思い企画しました。指導計画の段階では、附属幼稚園の先生に普段の子どもたちの様子を教えていただいたり、アドバイスをいただいたりしました。調理に挑戦する子どもたちの姿は微笑ましく、指導する側の私もワクワクした気持ちを共有させてもらいました。子どもを対象にした食教育の念頭にあるのは、生涯発達につながる食の育ちです。調理での「楽しい！」「おいしい！」「またやってみたい！」という感情や体験は幼児期以降の生活的自立と深く関わっています。また、調理操作から幼児期の手指の巧緻性の実際をみることができ、私も指導に力が入ります。



保育士や幼稚園教諭といった保育者は表現技術や保育内容等々、幅広い専門性を必要とします。保育者養成においては、担当授業はその一部であることを常に意識しながら、文脈や日常性を大切にした実践や教育を追求していきたいと思っています。また、保育者を目指す学生たちと関わっていると、健気で柔軟、他者への細やかな心配りができる、そういったことをよく感じます。そして何より短期間の成長には目覚ましいものがあると実感しています。実習にひた向きに取り組む姿や新しい事に挑戦する姿など、保育者の卵として日々育っていくのを目の当たりにし、私も成長していかないと、と反省しきりです。この春からはクラス担任になり、ますます気が引き締まる想いです。

実習先や附属幼稚園の先生、学内の子育て支援施設のスタッフの方々と関わらせていただき、日々の保育活動の中で省察を繰り返し、実践する、優れた反省的実践家にたくさん出会う事ができました。こんな素敵な保育者になってほしい！微力ではありますが、保育者養成の立場からできること、研究に教育に、邁進していきたいと存じます。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496　愛媛県松山市北条６６０番地
ＴＥＬ．089－993－0702(代)
http://www.catherine.ac.jp
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp